



インターハイ予選 対筑波大附

高校試合結果

【関東大会予選】(1回戦シード)
2回戦：2014年4月20日(日)
武蔵○104-88●明学東村山

3回戦：2014年4月27日(日)
武蔵●73-81○筑波大附

【インターハイ予選】(1回戦シード)
2回戦：2014年5月18日(日)
武蔵○123-46●都府中西

3回戦：2014年6月1日(日)
武蔵○68-59●筑波大附

4回戦：2014年6月8日(日)
武蔵●61-95東海大菅生
(都ベスト64)

中学試合結果

【新人戦】
2013年10月6日(日)
武蔵○65-38●光が丘三

2013年10月13日(日)
武蔵●39-081石神井

【3区合同大会】
2014年4月13日(日)
武蔵○125-9●宝仙学園

2014年4月20日(日)
武蔵●42-071光が丘一

【都選手権予選】
1回戦：2014年6月15日(日)
武蔵○47-43●大泉北

2回戦：2014年6月22日(日)
武蔵●47-69○大泉西

国立代々木第二体育館イベント 2015.3.26 決定!

昨年の冬会報でお知らせしたとおり、「国立代々木第二体育館」を借り切ったRKMイベントを検討していましたが、運よく来年2015年3月26日(木)の13時~21時に借りることができました。平日ですが、学生組は春休み、受験生も試験後で一段落中、社会人も仕事の後に集まれる時間帯まで使用出来ます。

内容は87期を中心に検討してもらおうことにしました。OBも現役も楽しめる企画にしたいと考えていますので、アイデア・ご希望がありましたら、ぜひ幹事団にご連絡ください。

HCDへのお誘い

恒例の同窓会主催のホームカミングデーが、9月13日(土)午後2時から開催されます。RKMでは、高中体育館にて2時~4時に現役との交流試合とフリースロー大会を行います。昨年は、22名のOBが姿をみせてくださり、15名が現役との試合を楽しみました。OBが多く集まるとOB同士の試合もできますので、同期や近い年代の方をお誘い合わせの上、是非コートに足を運んでみてください。幹事一同コートでお会いできることを楽しみにしております。

春のゴルフ会報告 58期 松本 一郎

2014年3月19日、千葉県市原市浜野GCにて、RKMゴルフ会が開催され、27期から58期まで御茶ノ水OG4名、関係者を含む26名が参加、和気あいあいとした中にも熱戦が繰り広げられ、川浪猛さんがグロス89、HD16・8、ネット72・2で見事、優勝を飾られました。終了後に行われたパーティーでは、表彰式に続いて、初参加の36期サッカー部OB中野さん、優勝者の34期川浪猛さん、ベストグロを獲得された御茶ノ水OG片木さん(ア

ウト43、イン42、グロス85)、最年長の27期鹿子木基さん、32期印南さんの諸兄からスピーチを頂戴しました。一説によれば、本ゴルフ会の歴史は45年間にわたるそうで、年2回の開催ペースから推計すると、今回が第90回に当たるはずとのことでした。優勝者の川浪猛さんからは「本ゴルフ会のような人付き合いの場をキープすることが長寿の秘訣であろう」、印南さんからは「ゴルフとバスケの間には不思議な共通点がある」との大変、興味深いお話が披露されました。

RKM 就活支援のご案内
幹事会では就活支援の実施を考えています。就活を控える学生さん、RKMのOBネットワークを是非活用しましょう。下記までご連絡ください。

連絡先：78期 木本健一
090-5769-0199
k.kimoto0731@gmail.com

【物故者】
平成26年1月以降に亡くなられたRKM会員をご報告させていただきます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
・青山 好宏様(29期)
平成26年7月8日ご逝去

RKM会報 2014年8月発行 Vol.10 編集・発行:RKM 幹事会事務局:桑水流正邦(くわするまさくに) 〒132-0035 東京都江戸川区平井4-26-9 渡瀬方 メールアドレス: rkm634@rkm634.jp

平成26年度総会報告

平成26年度RKM総会を6月10日(火)に日本教育会館(一ツ橋)にて開催致しました。新会員88期からは3名の参加があり、今年も10代から80代まで幅広い年齢層の50名の方々に出席いただき、賑やかな総会になりました。(前年より7名減でしたが、50名の大台をキープできたことは幹事団としてほっとしました。)

総会では、まず昨年度に亡くなられた瀬古(22期)・濱中(24期)両先輩の御冥福を全員黙祷で祈った後、久我会長の挨拶に続いて、新入会員88期の出席者3名の紹介と挨拶が行われました。その後、幹事会より「平成25年度活動実績・会計決算と監査結果」の報告と「平成26年度活動計画・会計予算」の提案があり、すべて満場の拍手をもって承認されました。

決算では、平成25年度も約66万円の剰余金を残すことができ、今年も現役支援金として20万円を贈呈することができました。また、予算では来年春季に予定している国立代々木第二体育館でのRKMイ

ベント用に10万円を活動費として計上したことが、今年度の特記事項です。これらの詳細は、同封の資料をご覧ください。

続いて行われた懇親会の部は、今年度総会出席者の中で最長老の22期芹沢憲一さんによる乾杯の音頭で幕をあげ、グラス片手に賑やかな歓談の輪が広がりました。途中、23期黒板行二さんから瀬古さんと旧制時代の思い出話、29期佐室有志さんから濱中さんを最後にお見舞いした時の様子などが語られ、故人を偲びました。

会場には、29期の三ツ本さん、大澤さんからアーカイブに提供していた資料の一部である畑公(3期)が高校生時代のゲームスコアブックや、戦前の日本バスケットボール協会誌が展示品として置かれ、また、今年の現役のインターハイ予選時の写真や元旦バスケットの写真なども掲示されており、興味深げに見入っている人達もいました。

また、昨年度の総会で発案された「会場での寄付集め」ですが、

今年は募金箱を準備してお願いに回ったこともあり、昨年を上回る6万5千円の協力が得られました。賛意をよせられた方々に御礼申し上げます。最後は、全員で恒例の集合写真を撮影し、今年度の総会をお開きとしました。

尚、総会後に新会員の88期川田祐一郎君から総会の感想をいただきましたので、ご紹介いたします。「この度はRKMの総会に参加させて頂きありがとうございました。OBの方たちとお話させて頂き、ついに自分も現役を支援する側になったのだと自覚しました。これから合宿や試合の応援等、積極的に現役をサポートしていきたいと思えます。」

次回総会予定

来年度の総会は、平成27年(2015年)6月上旬を予定しています。詳細は決定次第RKMホームページ、メールでお知らせいたしますので、皆様お誘いあわせの上、是非ご出席ください。同期会の会場として、総会を活用していただくことも歓迎です。



1: 集合写真
2: 世代を超えて談笑
3: 78期木本君(山崎先生代理)へ現役支援金贈呈
4: アーカイブの展示

RKM会長挨拶

36期 久我 昭雄

この1年間のRKMのいろいろな活動や、今後やろうとしていることについて、総会や会報等で皆さまにご報告しておりますが、私からは3つお話ししたいと思います。一つ目は、先日、29期の三ッ本和彦様から、初代RKM会長だったお父上、常彦さまの残されていたバスケット関係の資料をお預かりしました。これからRKMアーカイブの資料として、デジタル化を進め、皆さんにもご覧いただけるようにしていくつもりですが、インターハイの武蔵の戦評など興味深い資料をいくつか総会の会場にお持ちして、生でご覧いただきました。このような貴重な資料がなくなったりしない内に、アーカイブとして記録し、武蔵の、そして日本のバスケットボールの歴史の一部として保存し公開できるようにしたいと考えています。皆さんがお持ちの資料などのご提供をよろしくお願いします。

二つ目は、昨年から、若手会員の役に立てばと、就職活動支援体制をスタートさせました。会報でもご報告していますが、今後ともこれを続けていくためには、受け皿になるOBの方々をもっと組織する必要がありますを感じています。幹事からもOBの皆さんに働きかけますが、後輩の相談に乗れる方は是非ご協

力をお願いします。

最後は、活動資金です。基本は皆さまからの会費ですので、この納入促進なのですが、それに加え、昨年の総会で臨時に寄付の箱を作ったところ、6万円もの臨時ご寄付を頂きました。もし、立派な寄付箱だったらどんなものだろうかと、今年は事前に箱を用意しました。会計の健全化には、幹事一同努力していることは、同封の会計報告でご理解いただけたと思います。心ある方、ゆとりある方々のご寄付を今年もお願ひします。(尚、今年の総会では6万5千円ものご寄付をいただきました。どうもありがとうございます。)

今後幅広い世代のRKM会員相互の交流や現役支援をしつかり続けたいと考えておりますので、皆さまのご協力・ご参加をよろしくお願ひいたします。

新会員88期紹介

キャプテン 福味 徹也

同期のメンバーは、浦 有郷 川田 祐一郎、櫻井 雄二、清水 一輝、戸田 陽、渡部 慶久、福味 徹也の7名です。都ベスト32を目標に、一年間の部活動を通じて互いに切磋琢磨できるように、また、身長で劣るものの走力とチームプレーで勝負できるようなチームを目指しました。

発足当初はバラバラだったものの、引退に向けて徐々にまとまっていく感触を感じられました。改めて、とても充実した一年間だったと思います。



左より川田君、櫻井君、清水君 (平成26年度総会にて)

現役活動報告

体育科・高校コーチ

山崎 正晴

生徒援助金の使途

OB諸兄にはこの紙面をお借りいたしました。厚く御礼申し上げます。例年と変わらぬご支援に生徒とうもに感謝しております。ありがとうございます。

さてその使用についてですが、昨年秋季に新調いたしましたユニフォームの一部といたしました。中学、高校の連携、継続について意識させるべく同じデザインとなっております。

スフォーメーションに八朔(8つのパターンがあるという意味の8策ではなく、OBの差し入れが八朔ばかりだったのでそう名付けました)がありました。私達の練習中に畑先生が考えついたものだったと思います。

高校卒業以来バスケットとはすっかり離れてしまいました。いまは仕事の他にボイスカウトの隊長をしています。子供達と接するときなど、畑先生をよく思い出します。ガミガミ怒鳴っているわけではなく、チーム全員のひとりひとりの個性、良さを観察してその特徴をのぼし、その年集まった選手にとって最も適しているチームを作り、そして最終的には我々を信頼してくれていたのだと思います。子供達と接する度にその難しさ、畑先生が如何に優秀であったかを実感します。高校時代はそれが当たり前と思っていました。それが如何に貴重で素晴らしい体験であったかが漸く理解でき、この幸運に大変感謝しています。

来年は二男が大学を卒業し漸く子育ても終わる予定なので、RKMにもたまには顔を出したいと思ひますので、その時はよろしくお願ひします。

卒業後50年

38期 竹林 契矩

武蔵を卒業して50年が経ち、この原稿依頼があつて、改めて振り

29期の集い「HGC」

29期 川浪 茂男

29期(HGC)の仲間は隔月に集まっています。なかなか出席率が良く、皆がその日を楽しみにしています。この形は長く続けやすい方法の一つと思われるので、ご紹介いたします。

偶数月のゾロ目の日と決めてある。すなわち2月2日、4月4日、6月6日という具合。13時から昼食を摂りながらお互いの状態を確認しあう。いろいろ情報交換する。幹事は無し、予約、開催通知、出欠把握などは無く、当日都合が悪くない人は毎度決められた場所に集まる。

場所は、有楽町の東京国際フォーラム地下1階のカフェテラス形式のレストラン。セルフサービスで時間制限は無い。話題は自由で、当然、バスケットの話し、RKMの話しは毎回のように出るが、その他何でもあり。都合が悪ければ欠席自由でその通知も不要だが、ほとんど事前に誰かに伝えていく。自然にそうなった。一昨年から続けているが、欠席者0〜2名/回程度で出席率はほぼ85%以上。現在の在籍者10名(外出困難者2名を除く)。

以前、皆が現役で仕事している頃は「満年幹事」が居て年に1回ご夫人同伴(任意)で夕食会をやっていたが、仕事を卒業する人が出て引け目もあり、暫くOB会やRKM総会からも遠ざかっていた。

社会人になってから、武蔵のバスケット経験者というだけで会社の女子チームの監督を10年間勤めさせたことができた。それも現役時代の経験や畑公の教えを思い出しながら勝つために何をすべきか考えたお蔭であった。

光陰矢の如し。少年老い易く、されどいろいろ学び経験した50年の年月が流れ、先輩と後輩の人の繋がりを大切にしている武蔵の良き伝統のお蔭もあって、今は過去のトラウマからも解放されOB会やRKM総会にも楽しく参加している。最近では現役達の活躍の報告を見ながら、嘗て部の存続の危機に悩んだことを思い出しつつ心の中で叫んでいる、かの有名な監督の言葉と同じ「吾RKMは永遠に不滅です」と。



平成26年度総会にて

卒業後10年ごとのOB報告

高校を卒業して40年が過ぎました。つまり北海道に住んで40年経ったことになりました。東京の喧嘩から離れ北海道でのんびり暮らしていると、あつという間に時間が過ぎ去ってしまったように感じられます。帯広で大学生活、釧路で就職して結婚、3人の子供に恵まれ、昨年以上の二人が結婚、昨年10月と今年の5月には孫も生まれました。それなりに順調に楽しい人生を送ることができたと思います。

こんな人生を過ごせたのも、6

刻み込まれている恩師の言葉は、バスケットボールの技術に関するものだけではない。「へばつたら、頑張れ」これは元々、試合中に力を振り絞るための言葉なのであるが、社会人としての心構えにも通じるものがある。また、前述した、観察、予測、準備は、そのままビジネスにも応用することができる真理である。

年間を過ごした武蔵での経験、特に畑先生という素晴らしい指導者に巡り会うことが出来たこと、そして多くの友人に巡り会えたという幸運が、大きな要因の一つであると思っております。

長男が中学校でバスケット部に入部した時に話しを聞くと、私の知っている練習方法と全く違っていました。弱そうだなと思つてみると、案の定非常に弱いチームでした。ただ練習時間だけが長く、何のためのどのような目的を持つた練習なのか、全く理解できません。練習時間が長すぎるために結局は手を抜き、集中力を欠いた練習だったのだと思います。二男は野球部でしたが、話を聞き限り状況は同じでした。

釧路では東京と大きく異なつていて大会の回数が多く、ダブルヘッダーがあたりまえです。それも土日の二日連続なので、結局は体力勝負のようなチーム作りとなり何kmもランニングをしていました。私達の頃はせいぜい4歩5歩(4歩ランニング、5歩ダッシュの繰り返し)でコートを通る3〜5周程度でした。練習方法も毎年同じ事を繰り返しているようでした。先輩が1回戦で負けたのであれば同じ練習を続けても結果は変わらないんじゃないの?もつと練習方法や内容を変えていかないと強くはならないよとアドバイスはしました。私達の頃はマンツーマンのオフエン

4歩5歩と八朔 48期 田中 卓

高校を卒業して40年が過ぎました。つまり北海道に住んで40年経ったことになりました。東京の喧嘩から離れ北海道でのんびり暮らしていると、あつという間に時間が過ぎ去ってしまったように感じられます。帯広で大学生活、釧路で就職して結婚、3人の子供に恵まれ、昨年以上の二人が結婚、昨年10月と今年の5月には孫も生まれました。それなりに順調に楽しい人生を送ることができたと思います。

こんな人生を過ごせたのも、6